

5-11 勉強会開催

北山公園にて

<午後1時開催 東京地裁504法廷>

当午前川時 日比谷公園にて前筋集

「11/19南争公判をさざる会(準備)

全ての尊友、教職員の皆さん

いよいよ昨年の11月19日において審費改訂懇親会に介入し、不正に不正補充、起訴された原告の裁判が開始されました。

私はこの度、11月19日の尊生のやり取りに見られる当尊の尊生の強圧に強く反対し、不正に不正補充された3名の尊友への支援を主目的に行なってきました。このつながら、当毎一警察権力は一体となって尊生、教職員の当然の訴時控文の声を無視し、うちは各の尊友を被告という立場に追いやり、前科者とのレッテル張りを行なったのです。

私はこのように当尊と警察権力が名目の尊友を長期にわたり拘束したことの固執が明らかに尊費値上がりを至上の目的として強行せざるを得なかつた当尊が直上に反対する尊友を一蹴する方針とて行なつたもの以外の何物でもないと考えています。

私は11/19の教職員への尊費改訂に觸れる説明会など、全くこの度の矛盾の一切を省りみない豪傑であり、説明会に介入し、どの度逃

亡に逃亡を重ね、尊生の前に姿をあらわさなかった尊長小林や理事長吉義に尊友が当然の要求としてある直上反対の意思を表明し、団交を行なうための行動は全く正当であると言ふことを得ました。

しかしむろん、当尊一連尊会は他の試験などなく、警察及び尊入で、自らの手で尊友を犯し現れたのです。

とにかく、おおこの尊友が教師隊の今ごろ物陰に連れこまぬぐる、跳るのテロとりこうを創り出しているのを裏目で見ていたから、何らかすべどもかつかののです。

とにかく、たゞひとつ為したことと言えば、笑みを含めて日其の教員が尊うそひとり警察権力に引き渡したことです。

日頃、教壇に立つて、才士般に理性の府をうまい、才尊の自治を講る本がこの始まるのですから全くの矛盾です。

語るは易しいが、一つ難いのが典型的の真本にあります。当尊、誰かに、教職員まで含めて当尊は四教務評議会をひき上げ、四教金の大幅削減を勝ち取るんだといきまいています。又、ここに唯一、尊費改訂に廢止するかいつこうをおおこの教職員が指してゐます。ところが、ことの成りゆゑを正しく見る限り、このことの破綻は到底なかつたうのみであります。カリでころとてた当尊は確実運動こと、当尊にじつてアリバイ的に当尊を努力しているんですよと見せるポーズをつくるためのうなづくほいのほ事典です。

おおこの教職員が意識的に、又無意識的にこのようなどこうに動かし求めているのでありますから全くの漫画です。要はあまりにめぐらしく自己が内心に宿している保守意識をあおつたりで尊に表現しているのです。

とにかく、私は11/19南争公判をさざる尊友ら、もう一夢ア尊知職員の精神構造にメスを入れ、つねに解任の対象として設定していくつもりです。それどころか現在私達に求められている尊尚、研究の一切を生き残りたいと思っております。

共に11/19南争公判をさざる尊友ら、さらなる進歩を生みださ!